

平成 24 年度山野学苑事業報告

はじめに

学校法人山野学苑は、わが国の美容界の先駆者として発展を念願しつつ、「紙・顔・装い・精神美・健康美」の五大原則を「美道」として、教育を実践してきました。この建学の精神に基づき、総合的な「美」を創造し追求することが本学の教育理念であります。

平成 24 年度は、山野正義総長に対し、健康・医療・福祉・伝統文化の分野で貢献した功績として、秋の旭日小綬章が授与されました。また、イタリア・ローマで開催された 2012 年 ICD 世界大会に於いて、山野美容専門学校がベスト・ワールド・アカデミーとして表彰され、名実共に世界一の美容学校として認められました。

以下、各学校の主な事業活動についてご報告します。

《短期大学》

平成 24 年度は、昨年度の改組、(美容総合学科＝美容デザイン専攻、総合エステティック専攻、国際美容コミュニケーション専攻)の 2 年目、そして現代美容福祉専攻の 1 年目です。開学以来 20 年が経過し、20 期生が卒業、また改組前の美容福祉学科生が卒業した年です。

(1)各専攻の特色

「美容デザイン専攻」

美容師の国家資格取得を目指す専攻です。トータルな美容技術を修得するとともに教養も身に付けて、美容界のリーダーとなるような人材の育成を目指します。

「総合エステティック専攻」

エステティック技術を中心に学びますが、メイクや着装技術、ネイルなど美容関連の技術も修得し、総合力を持つエステティシャンを目指します。

「国際美容コミュニケーション専攻」

グローバルな人材育成が叫ばれる中、必須とも言える英語力を身につけ、同時に美容関連技術も修得して、海外も視野に入れた美容業界での活躍を目指す専攻です。

「現代美容福祉専攻」

介護福祉士の資格取得を目指す専攻です。山野学苑が培ってきた美容福祉を継承する意味で美容関連技術の修得を含め、福祉分野で美容の力を発揮できる人材を育成します。

「美容福祉学科」

美容師資格と介護福祉士資格の両方を目指した学科で 3 年制の 3 年生が 1 学年のみ在籍していました。

(2)卒業後の進路

3 月には 3 専攻が改組以来、初の卒業生を輩出し、同時に美容福祉学科生も卒業しました。

「美容デザイン専攻」

短大の特徴として就職の多様化が挙げられます。ヘアサロン就職は 56%、その

他の美容系サロンが13%、一般企業9%、ほか進学や留学などです。

「総合エステティック専攻」

エステサロン就職が91%、ネイルサロンが3%などです。

「国際美容コミュニケーション専攻」

化粧品関連を中心にアパレルなどの一般企業が53%、その他の美容系サロンが24%、進学が23%です。

「美容福祉総合学科」

美容サロン就職が64%、その他のサロンが6%、美容系の一般企業が18%、そして福祉施設と進学が6%ずつでした。

また進学では、短大の専攻科を含め4年制大学の3年次編入先は9校に上ります。このように幅広い進路先が短大の特徴のひとつです。開設当初から卒業後の多様な進路先を考えたキャリアサポート体制を構築しました。

(3)キャリアサポート

①ゼミナール

4年制大学で開講されるゼミナールとは専門分野に特化した内容を扱うものですが、短大では、キャリア支援や人間教育に柱を置いています。

短大独自のこの「ゼミナール」では、ホスピタリティ能力、コミュニケーション力等の社会人基礎力の育成を柱とし、少人数制の人間教育、キャリア教育を2年計画で進めてきました。

基本的構成は、40名のクラスを3つに分けてゼミクラスを形成しています。それぞれに担当教員が1名付き、学生一人ひとりに寄り添う教育を行っています。

②インターンシップ

ヘアサロン、エステサロン、ネイルサロン、ブライダル企業、一般企業など就職の多様化を意識できるよう、協力企業の開拓を進めてまいりました。1年次の夏と2年への進級直前の3月、2週間から1ヶ月ほどのインターンシップで現場力を体感すると同時に社会人としての意識付けをねらいます。

③キャリア支援センター

キャリア支援センターは、ゼミ担当教諭と密接な連携を図りながら、就職先の開拓、インターンシップ先の開拓も進めて提携先を増やし、学生にとって有効で且つホットな情報の提供に努めると同時に企業説明会等を実施しています。

(4)課外活動

美容という特徴を活かした地域活動、地域貢献等の活動は、社会で高く評価されてきました。学生ボランティア活動の積極的な参加をはじめ、教員としてはボランティアの引率・指導の他に、市民講座における各種講演や、化粧法の講習会、研修などを可能な限り実践してきました。

①地域密着型の活動

八王子まつり、民生委員会、いちょう塾公開講座、柚木フラワーフェスティバル、学生天国、など。

②グローバルな取り組み

Tokyo International Players、西町インターナショナルスクールなどでのヘアメイク、着付け

③施設への訪問

介護施設等へ訪問し、ネイル、ハンドマッサージ、メイク等の施術。

(5)卒業後

卒業後の取り組みとして、開学当初より同窓会を組織してきましたが、24年度よりさらに組織を充実させるために、組織作りの見直しを開始しました。同時期に入学した同期生の組織作りの充実を図ることを第一とし、学生自らが意識的に同期のつながりを持てるような施策を講じました。具体的には卒業時アンケートで卒業後の連絡先の登録を促すこと、各クラスの幹事を卒業前に決定し連絡体制を整えておくこと、などを実施し、早い段階で同期会の開催を実現すべく準備を始めました。同期生のつながりが強化されることで全体組織である同窓会が活性化され、母校である短大とのつながりをより強くしていくことがねらいです。

《美容専門学校》

山野美容専門学校は、昭和9年に山野美容講習所として創設されました。以来78年間にわたり初代山野愛子先生が提唱した美道を基本理念として、美容界のため豊かな発想と美的感覚を備えた美容師の養成に努めてきました。近年、美に対する個人の意識が多様化し、また、社会の変革に伴って美容師に対する要望も高度化してきました。特に、これからの高齢社会においては、美容福祉の重要性を自覚し、福祉についても基本的な知識・技術を学び、人のため癒しの気持ちを施すことができる思いやりと愛の心を備えた美容師を養成することが望まれます。このため、アメリカの南カリフォルニア大学と提携して、日本では東京大学と本校だけでしか学べない学際的学問であるジェロントロジー教育を開始しました。

このような基本的な考え方を具現化した主要な取り組みは次のとおりです。

(1) 教員の教育力の向上

グローバル化された美容業界で活躍できる美容師を養成するためには、教員自らの知識・技術・指導力の向上が不可欠です。そのため、適宜、教員研修を行い各自のスキルアップ、ティーチングスキルアップを目指しています。

- * 平成24年8月 全国理容師美容師養成施設教職員研修参加（広島・4名）
- * 平成24年8月 各コース研修・国家試験課題研修（校内）
- * 平成24年11月 東京地区理容美容教職員研修協議会定期研修（山梨）
- * 平成24年12月 各コース、スキルアップ研修（校内）
- * 他、コース・チームごと研修を行っている

(2) カリキュラムの改善

2年間という短い時間の中で学生のビジョンを形にしていくためのカリキュラムとして、基礎的な技術を学ぶ基礎プロコース、プロの現場にも役立つ技術や意識、対応力を身につけていくテクニカルプロコース、そして国家試験の全員合格を目指しています。

「この授業は今の自分に必要ない」、又は、「自分が目指しているプロに近づけない」などの学生にストレスをかけない対策として、学生自身が興味のある課目を選べるカリキュラムとしました。

① カリキュラム You（専門課程）

プログラムを学生が自分で決断し、選択する。このカリキュラムの特徴をさらに進化させました。これにより185通りの選択ができるようになりました。また学生からの授業評価により授業改善をするシステムとしました。

- * 基礎プロ2、4つのプログラムから2つ選択 → 5つのプログラムから3つ

選択できるようにした

- * テクニカルプロ、6つのプログラムから3つ選択 → 7つのプログラムから3つ選択できるようにした

② カリキュラムLIVE（高等課程）

高等課独自のカリキュラムとしました。学生はそれぞれのサロンの情熱を感じながら受講しています。

- * 現場で活躍しているトップスタイリストが実習授業を受け持つ
- * 20以上のトップサロンが授業を担当した
- * 2年間の実習時間の35%がサロン授業とした
- * 現場の雰囲気を感じられる授業をおこなった

(3) 学生サービスの向上

① 環境の整備

学生生活の中で気付いた不満や理不尽な出来事、また、こうしたらもっと良くなるといったアイデアなどを聞くため、ご意見箱を設置し、投書を受理したら速やかに事務局長が真摯に回答する体制を整えその対応に当たりました。

② キャリア支援

就職指導については、伝統と21万人の卒業生を世界の美容界へ送り込んだ実績によって、卒業生数を大幅に上回る求人数がありました。また、カリキュラムに沿った新たな企業等の開拓にも取り組んでいます。キャリア支援センターの書棚には、地域別に分類された「求人票」、サロン紹介のパンフレットが並び、インターネット用のパソコンを備えて、情報の収集、説明会等への参加登録を実施しています。

③ 人権の尊重

セクハラ・いじめについては、学生・教員・職員が個人として尊重され、お互いの信頼のもとに教学に専念できる環境を作り、これを維持していくことを重要と考え「セクハラ防止等に関する規定」を制定し、いかなるセクハラ・いじめも黙認されたり、見過ごされたりすることがないように取り組みました。

④ 社会人基礎力

学生には美容師として社会に出て活躍できる美容技術の基礎力とコミュニケーション能力やマナーを身につけ、教養を高め豊かな感性を磨いて、新しい時代のリーダーを目指して誇りと希望を胸に意義ある学生生活を送られるようにサポートをしました。

(4) 卒業生(校友会)とのネットワークの構築

昭和9年に創設され、78年間に及ぶ教育で21万人の卒業生が世界の美容界で活躍しています。卒業生への各種サービスの一環として、学校のホームページにイベント等の情報の提供や就職先としての協力依頼等、また、卒業生相互の絆を更に強力なものにするためのネットワークの拡充に努力しました。

(5) 経営基盤の強化

平成24年度は、少子化・価値観の多様化等による入学者の激減により、概算において難しい状況に直面しましたが、迅速な対応で基盤的経費を確保すると共に震災特別学費支援制度を継続して、被災された方で学力優秀・品行方正の希望と素養のある生徒に対して、学費の免除を行う等学業に専念できる環境を整えました。

《医療専門学校》

開校 10 周年を迎えた山野医療専門学校は、平成 24 年度も教育、医療界を取巻く環境はきわめて厳しいものであったが、山野学苑の建学精神を念頭に置き、社会において人間がより人間らしく幸福に生きるための心身の健康を追究し、その精神を根拠とする教育を実践することにより、社会に貢献できる柔道整復師の育成に取り組んだ。

【事業報告】

1. 職員体制の刷新・増強・充実

欠員となっていた教頭職を学則上に明記し、職制を明確にすると共に、教頭、学科長、事務局長、課長による会議を毎週実施し、教育部門と事務部門との情報の共有化を図り、学事の充実化を行った。

2. 国家試験について

平成 24 年度の柔道整復師国家試験合格率は総合で 46.8% (全国平均 68.2%)、新卒で 66.7% (同 83.7%) であった。

3. キャリア支援の確立と強化

就職説明会については 7 月と 1 月の 2 回を実施し、また、同窓会組織を活用した就職経路の確立については通年を通してコミュニケーションをとれる環境を整備することができた。

4. 定員の確保

平成 24 年度の入学者数は 50 名であった。定員 90 名には達しておらず、厳しい環境を改めて認識する結果となった。教職員 1 人ひとりが、教職員の使命を強く自覚し、深い愛情と情熱をもって本学苑の建学精神、ならびに本校の教育理念を意識した質の高い教育を実践することで、魅力ある学校づくりに取り組み、定員を確保していく。

5. カリキュラム、時間割の改定

基礎科目を「美容柔整 I~IV」、専門基礎科目を「人体の構造と機能 I~V」、「疾病と障害 I~V」、「保健医療福祉 I~III」、専門科目を「基礎柔道整復学 I~III」、「臨床柔道整復学 I~III」、「柔道整復実技 I~VII」とする新カリキュラムに改訂し、平成 25 年度から実施することとなった。今回のカリキュラム改訂の特徴は、①科目相互を重視した就学年次配列、②国家試験対策重視した履修科目配列、③基礎科目を美容柔整で体系化した。

6. 授業方法の研修として

より良い授業運営方法の研究と教育現場への反映を目的に、シラバスの作成方法、及び選択肢問題の作成方法を研修し、授業運営の充実化を図る取り組みに着手した。

7. 楽しい学校生活づくり

部活・課外活動・スポーツ大会・遠足・親睦会などを企画、実施することにより、教職員、生徒の一体化が図れた。

8. 規律ある学校生活の徹底

医療人を目指すにふさわしい身なり、言動がとれるように生活指導を行った。

9. 課外授業、課外活動の充実

カリキュラム外教育内容として、以下の活動を実施した。

『スポーツトレーナー・テーピング・ストレッチ』

『健康と美肌とアンチエイジング』

『癒しと治療の美容柔整』

『美容外科医による美容柔整』

『あん摩・マッサージ・指圧の基本』

『ヨガ』

『リフレクソロジー・アロマセラピー』

『美しい姿勢・健康美』

『第2回バーベキュー大会』

10. 各種資格取得のための講座充実

今年度は取得講座として「登録販売者」の講座を開講した。

11. 「美容柔整」概念の具体化

美容柔整を授業に組み込んだカリキュラムを制定し、平成25年度4月より実施する美容柔整の教育体系を確立した。

【今後の課題】

1. 教職員体制の刷新・増強・充実

学事遂行において学苑内の連携をより一層蜜にし、円滑な学校運営を図る。

2. 国家試験について

今年度の国家試験合格率が総合、新卒いずれも全国平均を大きく下回る結果であり、きわめて深刻な状態であることを強く認識している。これを改善するために、平成25年度は、国家試験対策プロジェクトを組織し、個人対応に力点を置き、学生1人ひとりにきめ細かい丁寧な指導を徹底して、合格率100%を目指していく。

3. キャリア支援の確立と強化

卒業後の技術研修会、卒後教育の実施、卒業生の独立開業支援体制の確立、インターンシップ制度の確立については、即戦力となる生徒を確実に社会へ送り出す仕組みを引続き検討構築する。

4. 定員の確保

広報・学生募集担当者委員会で、本年度の活動内容を検証し、平成25年度の生徒募集活動の戦略を刷新して、入学者の定員確保に努める。特に、本校の特色ある教育の内容を分かりやすい形に再整備し、積極的に紹介していく。また、現在対象としていない領域に対して、広報学生募集活動の枠を広げていく。

5. カリキュラム、時間割の改定

新カリキュラム実施にともなう検証を行い、改善を図る。また、旧カリキュラムとの差分について学習効果への影響を明らかにする。

6. 授業方法の研修として

今後は、修得内容の評価検証の標準化を進めるためにはCBT(Computer Based Testing) 実施実現が望まれる。これを実現するに当たっては、①適正な問題を作成し、蓄積すること、②コンピューターで試験を実施し、結果を分析できるシステムを構築することが必要である。今年度はYMOTTOサーバーを構築したことから、質の高い問題を多数蓄積し、内容の充実化をはかる。

7. 楽しい学校生活づくり

今後は卒業生や、保護者を加えての更なる楽しい学校生活環境の充実に創意工夫する。

8. 規律ある学校生活の徹底：

今後は、メリハリのある生活習慣を身につけ、維持できるような指導を行う。

9. 課外授業、課外活動の充実：

独立開業に向けての、また、開業後の効果的な事業活動に結びつく知識、技術に関する講座、及び活動を展開する。

10. 各種資格取得のための講座充実：

卒業後の活動基盤を作るために、有効となる資格取得講座の拡充を図る。

11. 「美容柔整」概念の具体化：

授業の実施について付属接骨院を美容柔整の実践の場として位置づけ、社会に貢献できる臨床実習の方法を確立する。これに加え、学術的視点からの研究体系の整備を行う。

《日本語学校》

1. 学校の概要

(1) 設置コース

コース名	入学時期	定員
大学進学準備教育 1 年コース	4 月	100 名
大学進学準備教育 1 年半コース	1 0 月	110 名
日本語一般 1 年コース	4 月	100 名

(2) 教職員数

	専任	非常勤
教員	8 人	1 5 人
職員	1 人	2 人

(3) 生徒数

コース名	生徒数	定員充足率
大学進学準備教育 1 年コース	58 人	58%
大学進学準備教育 1 年半コース	112 人	100%
日本語一般 1 年コース	42 人	42%

(4) 生徒数（地域別）

中国	韓国	他	計
60%	35%	5%	100%

2. 事業の概要

- (1) 山野日本語学校はわが国の大学、専門学校へ進学するための日本語教育及び基礎教育を行う、大学進学準備教育 1 年コース及び大学進学準備教育 1 年半コースとわが国の大学、専門学校への進学するための日本語教育を行う日本語一般 1 年コースを設置している。

日本語能力試験の状況（日本語）

	N1	N2	N3	計
受験者数	50人	29人	0人	79人
認定者数	20人	20人	0人	40人

日本留学試験の受験状況

日本語	総合科目	数Ⅰ	数Ⅱ	物理	生物	化学
128人	33人	34人	8人	10人	8人	8人

進学状況

学院	大学	短期大学	専修学校
12人 (5)	16人 (35)	2人 (11)	46人 (28)

() カッコ内は昨年

※ 主な進学先

大学院：東京大学、京都大学、横浜国立大学、群馬大学、東京学芸大学、横浜市立大学、東北大学、早稲田大学、明治大学、國學院大學、高千穂大学、ハリウッド大学院

大学：福島大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、立命館大学、専修大学、拓殖大学、流通経済大学、東京工芸大学、敬愛大学、杉野服飾大学、麗澤大学等

- (2) 進学先として、大学院と専門学校が増加。理由は母国での大学進学が比較的容易になり、日本留学の目的として大学学部への入学ではなく、より上を目指して大学院、または技術を習得するために専門学校を選ぶ学生が増えていることによる。
- (3) 日本語教育のみならず、日本の文化や風習、日本人の考え方を理解することも重要視し、同学苑内の山野美容芸術短期大学、山野美容専門学校、山野医療専門学校と積極的に交流を行う。
山野美容芸術短期大学での留学生交流会に参加し、先輩留学生から見た、日本の文化や風習を知る。
また、山野美容専門学校、山野医療専門学校とは合同の学苑祭を行うなど、直接、日本人との共同の作業を行うことで日本人に対する理解を深める。
- (4) 生徒募集に関しては、「募集復活3ヵ年計画」と銘打った、東日本大震災により大幅な募集人員を3年間かけて元の学生数までもどす計画の1年目にあたり、目標となる4月140人をクリア、10月200人と目標の230人を下回ったが、2013年4月には目標の170人を大きく上回る260人となった。事実上、募集の「募集復活3ヵ年計画」は1年前倒しの2013年度で終了とする。

募集復活3ヵ年計画

時期	在籍者数	目標在籍者数	備考
2011.04	108人		東日本大震災
2011.10	177人		

2012.04	145人	140人	前年同月の1.3倍
2012.10	200人	230人	前年同月の1.3倍
2013.04	260人	170人	前年同月の1.2倍
2013.10	(360人)	270人	前年同月の1.2倍 ()内は見込
2014.04		200人	前年同月の1.2倍
2014.10		320人	前年同月の1.2倍

3. 課題

「募集復活3ヵ年計画」により大幅にベトナムの学生が入学したが、非漢字圏の学生が急激に増えたことによる、教育内容の見直し、学生サポートの見直しを早急に行う必要がある。